

令和6年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSRⅠ「課題研究基礎」発表会 SSRA「課題研究 A」中間発表会	
期 日	令和7年3月17日（月）1～3限(8:50～11:40)・・・普通科 3～4限(10:50～12:40)・・・理数科	
会 場	本校 1 年生各教室	
対 象	1 年生全員(普通科・理数科)	
目 的	・「仮説を立てて、実験を行い、レポートにまとめ、発表する」という研究のプロセスを体験する。 ・理数科は、来年度の課題研究に向けて研究の方向性や、今後の展望について発表する。	
内 容	○普通科は8月から物理・化学・生物・地学・数学の各分野に分かれ行ってきた課題研究の成果をまとめ、各班による発表を行った。8月から、計16時間の授業を実施。今回はその内容をまとめ、各クラス10～12班の発表を行った。 ○理数科サイエンスコースは、各班の調べた内容とこれからの研究方針を発表し、メディカルコースは、研究の中間発表を行った。いずれのコースも活発な質疑応答が行われた。	
 		
発表の様子(普通科)		
 		
発表の様子(理数科・サイエンスコース)		

アンケート 評価	発表会の後、17の項目について自己評価を行った。その中で自分に最もよくあてはまると答えたのは、 「ほかのメンバーと協力できた。」86.0% 「自主的・意欲的に取り組んだ。」81.6% 「教科書にはない実験・研究ができてよかった」76.6% の順だった。 また、自分にどのような力がついたと思うか、の問いには上から、 ①「チームワークを活用する力」 ②「課題を見つける力」 ③「ものごとを探求する力」 となった。科学に対する興味・感心はこの授業の前と比べてどう変わりましたか？の問いには、87.4%の生徒が「上がった」と答えた。プレゼンテーション能力やレポート作成の能力について「上がった」と答えた生徒は少なかったが、今後も継続的に課題研究に取り組む中で、より高まることを期待する。
感想など	・実験が仮説通りにいかない、また使用している物品にアクシデントが起きた際は驚いたが、その対策を班のメンバーと考え、なんとか実験を成功させ、より良い発表を行うことができたので良かった。 ・チームで協力して1つの課題について考えたり、実験したりするのは初めての経験だったので、大変なところもあったけどとても達成感があった楽しかったです。私は発表が苦手なので、もっと聞き手に伝わりやすい発表をできるようにしていきたいと思いました。 ・最初は全くテーマが決まらなくて色々な案を考えたけれど時期や時間も限られているので限られた中でしっかりと研究できる内容を選ぶのが大切だと思った。失敗点や課題や疑問に残ったことを活かして次の実験につなげたい。 ・自分たちで課題を見つけ、課題に対して研究方法や考察を考えることができて自分の自信につながりました。普段関わることがない人とも関わることができて良かったです。 ・課題を考えるにあたって、既習範囲を超えた内容になってしまったが、出来るだけわかるように伝えられたのでよかった。途中で迷走した時期もあったがチームでの話し合いを重ねて、最後、発表までこぎつけたのでよかった。 ・たくさんの失敗を繰り返しながらでしたが、授業数を重ねていくたびに仲間との仲も深まり効率よく進めることができたのでとても充実した課題研究基礎になったと思います。 ・先行研究がなかったので何をするかを自分で全部決めないといけない事が大変でした。ですが、「飛ぶ未来」を想像すると面白くてやりがいを感じました。 ・答えがわからない内容について自分たちで調べていくのは情報収集が下手だったり情報が少なかったりして困難な部分も多かったが班員で協力する大切さを学びました。 ・興味のあることをとことん調べることができました。そして、仲間と協力して作業を進めることで、発表へと臨むことができ、非常に満足しています。今後も、諦めることなく着実に、成果を積み重ねていきたいと思っています。